

(11) 区立図書館との連携

本に親しみ 読書を楽しもう

荒川立第四峡田小学校図書館 編



実践事例	
1	対象(年齢・学年)等 : 小学校全学年
2	実施時期 : 通年(4月～3月)
3	概要 : 本に親しみ読書を楽しむ習慣をつけるために、多くの本に出会える機会を設ける。
4	内容 【公立図書館の団体貸し出しによるクラス読書の推進】 ① 公立図書館から、学期ごとの各クラスへの団体貸し出し。(50冊ずつ) ・学年によっては、学期の途中で学級同士で本を交換しているため、一年間に150冊～300冊の本に出会えるようにしている。 ・学年に応じた読み物、季節に応じた読み物、理科、社会、国語などのその学期の学習単元に即した資料を中心に、学校図書館指導員(学校司書)が選書を行っている。 ② 公立図書館のスタッフによるブックトーク ・希望学年には荒川区立町屋図書館のスタッフがブックトークのために来校。一回につき5～6冊の本を紹介している。 ・多い学年では、学期に一回の頻度で実施している。
5	参加者の反応 団体貸し出しでは、児童は新しい本との出会いをとても楽しみにしている。特に教科書に出てきた読み物の本には深く興味を示し、友だちに紹介したりする姿も見られる。ブックトークでは「続きが読みたい」という意欲を引き出してくれるので、聞きながらどんどん引き込まれている様子がうかがえる。
6	連携した諸機関 荒川区立町屋図書館 荒川区教育委員会学校図書館支援室